

第4章 民生費

第4章 民生費

第1節 社会福祉費

1 社会福祉総務費

(1) 社会福祉協議会支援事業

社会福祉の増進を図るため、社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会に運営費として、3,688万5,000円を補助しました。

(2) 生活困窮者支援事業

生活困窮者の自立を支援するため、相談者の身体的、精神的、家庭的問題等を分析し、個々の実情に応じた支援プランを策定しました。

この支援プランに基づき、家計管理能力及び就労に必要な基礎能力の向上を図り、生活困窮状態からの脱却に向けた包括的・継続的支援を行いました。

ア 委託

名称	概要	金額(円)	委託先	契約方法
自立相談支援事業	生活困窮の原因を分析し、本人に適した自立プランを策定する。	19,138,400	社会福祉法人富士宮市 社会福祉協議会	随意契約
家計改善支援事業	家計管理に特化した自立プランを策定し、家計収支全体の改善を図る。	9,720,000	社会福祉法人富士宮市 社会福祉協議会	随意契約
就労準備支援事業	生活習慣の改善、一般知識の習得等により、就労に向けた基礎能力の向上を図る。	12,600,000	NPO法人青少年就労 支援ネットワーク静岡	随意契約
一時生活支援事業	住居を失った生活困窮者に一時的な居所と食事を提供し、安定した生活を営むための就労活動を支援する。	2,295,000	NPO法人POPOLO	随意契約
子どもの学習・生活支援事業	生活困窮世帯の子どもに居場所を提供するとともに、学習支援を行い、高校進学等将来における選択肢の幅を広げる。	8,250,000	NPO法人青少年就労 支援ネットワーク静岡	随意契約

イ 扶助

離職等により住居を失うおそれがある人に対して、住居確保給付金を支給することにより、住居及び就労機会の確保に向けた支援を行いました。

給付件数 67件 給付金額 954万3,700円

成果等

就労支援対象者49人のうち、27人が一般就労を果たしています。

また、子どもの学習・生活支援事業に参加した中学3年生9人の全員が高等学校などに進学しました。

2 老人福祉費

(1) 高齢者保護事業

ア 措置

老人福祉法に基づき、65歳以上の高齢者で自宅での養護を受けることが困難な人を入所措置し、福祉の増進に努めました。

施設の名称	令和2年度末 人数(人)	令和3年度			措置費(円)
		入所人数(人)	退所人数(人)	年度末人数(人)	
市立養護老人ホーム 長生園	49	3	2	50	127,515,931
古宇養護老人ホーム 遊法苑(沼津市)	11	5	5	11	22,993,739
合計	60	8	7	61	150,509,670

イ 委託

施設の名称	概要	金額(円)	委託先	契約方法
高齢者生活支援ハウス	家族からの援助を受けることが困難な高齢者を一定期間施設に宿泊させ、生活支援を行う。	6,983,000	社会福祉法人 富士宮福祉会	随意契約

(2) 在宅福祉事業

ア 高齢者が住み慣れた地域で生活を継続するための支援として、次のサービスを行いました。

区分	概要	費用額(円)	実施方法
はり・きゅう マッサージ 料金助成	70歳以上の高齢者、身体障害者手帳1・2級所持者に対し、はり・きゅうマッサージ料金を助成する。	印刷製本費 92,400 手数料 72,000 負担金補助及び交付金 1,930,000	
訪問理美容 サービス事業	在宅要援護者に対する訪問理美容サービスを実施する。	委託料 176,000	静岡県美容業生活衛生同業組合 静岡県理容生活衛生同業組合
寝具洗濯乾燥 消毒サービス	寝具の衛生管理のできない人の支援として寝具の洗濯乾燥消毒サービスを行う。	委託料 180,180	静岡県クリーニング生活衛生同業組合
ホームセキュリティ システム設置事業	一人暮らしの高齢者等の居宅にホームセキュリティシステムを設置するとともに、その使用料を助成する。	使用料及び賃借料 2,094,768	エスピトーム(株) (株)ザ・トーカイ 富士通ソーシャルライフシステムズ(株)
合計		4,545,348	

イ 高齢者を介護する家族等の支援のため、ねたきり老人等介護手当を支給しました。

対象者 57人

事業内容 在宅のねたきり老人又は認知症高齢者の介護者に対し、月額5,000円の介護手当を支給することにより、その労をねぎらう。

支給額 270万円

(3) 地域づくり推進事業

老人クラブ活動費補助金

老人クラブは、令和3年度末現在51クラブがあり、2,326人が加入しています。

その活動費に対し、434万7,000円を補助しました。

(4) 敬老会実施事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、敬老の日の行事として市内各区等が例年開催している敬老会は中止となりましたが、市内各区等による記念品等の配付を支援し、77歳以上の高齢者1万7,150人に対し、長年の労をねぎらいました。

また、100歳の誕生日を迎えた高齢者45人と最高齢の男女2人に対し、長寿を祝福しました。

区 分	金 額 (円)
敬老会実施交付金	61,740,000
最高齢者等の記念品代等	2,310,000
合 計	64,050,000

(5) シルバー人材センター支援事業

高齢者の生きがいや就労機会の確保を通じ、高齢者の生活の充実を支援するため、公益社団法人富士宮市シルバー人材センターに1,133万9,000円を助成しました。

(6) 地域介護福祉空間整備事業

老人福祉施設整備費補助金

介護施設における感染症の感染拡大防止対策を実施した事業者に対し、補助金を交付しました。なお、補助金は、2事業者（3事業所）に対し563万1,000円を交付しました。

(7) 市単独事業費補助金

介護職員初任者研修費補助金

介護職員初任者研修の受講者に受講料の一部を補助し、介護事業所等における介護従事者の人材確保及び育成を支援しました。なお、補助金は、4人に対し15万2,890円を交付しました。

(8) 介護保険低所得者利用者負担額軽減措置事業

社会福祉法人利用者負担軽減対策補助金

低所得のため生計が困難な者の介護サービス・介護予防サービス等に係る利用者負担を軽減した社会福祉法人に対し、補助金を交付しました。

法 人 名	施 設 名 等	補助対象経費 (円)	補 助 金 (円)
社会福祉法人富士厚生会	シャローム富士川	495,138	101,000
社会福祉法人富士宮福祉会	星の郷	2,353,577	741,000
社会福祉法人富士厚生会	富士宮荘	3,637,128	1,079,000
社会福祉法人岳南厚生会	高原荘	668,496	125,000
社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会	社会福祉協議会	34,258	12,000
社会福祉法人天竜厚生会	しらいと	4,833,783	1,863,000
社会福祉法人湖成会	百恵の郷	2,800,491	1,008,000
社会福祉法人湖成会	楓の丘	152,222	6,000
社会福祉法人湖成会	月のあかり	828,709	336,000
社会福祉法人恩心会	かりんの家	1,160,000	286,000
社会福祉法人美芳会	風の杜	87,712	33,000
合 計		17,051,514	5,590,000
減 免 対 象 者		161人	

成果等

生計困難者の介護サービス等の利用を促進しました。

3 総合福祉会館費

(1) 施設の利用状況（開館日数 293 日）

施設名 区分	安藤記念 ホール	ふれあい ロビー	創作室	調理 実習室	第 1 会議室	第 2 会議室	第 3 会議室	大広間 (1)	大広間 (2)
利用人数 (人)	11,612	5,025	3,857	1,526	8,861	4,754	8,124	352	628

施設名 区分	対局室	和室	団体 活動室1	団体 活動室2	なかよし ルーム	くつろぎ の湯	よみがえ ルーム	合計
利用人数 (人)	1,121	2,547	1,626	1,889	0	3,526	1,598	57,046

(2) 指定管理者による管理

名 称	概 要	金額 (円)	指 定 管 理 者
総合福祉会館管理運営業務	管理運営	93,703,703	社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会

成果等

平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、地域福祉活動事業を積極的に行っている社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会が指定管理者として管理・運営に当たっています。新型コロナウイルスの感染症対策を行い、施設利用条件を緩和したため、利用者は昨年度より増加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大前に比べ約 3 万 5,000 人減少しました。

(3) 総合福祉会館陶芸用電気釜取替修繕

経年劣化に伴い、令和 3 年 8 月から使用できない状況が続いていたため、次のとおり修繕を行いました。

名 称	概 要	金額 (円)	受 注 者	契 約 方 法
総合福祉会館陶芸用電気釜取替修繕	経年劣化に伴う交換修繕	1,141,250	シンリュウ株式会社	指名競争入札

成果等

修繕を実施したことで、陶芸サークルの活動を再開することができました。

4 障害者福祉費

(1) 障害者手帳交付状況

身体障がい（児）者、知的障がい（児）者又は精神障がい者に対する各種の援助及び制度を受けやすくするために各種障害者手帳の交付を受けている者は、それぞれ次のとおりです。

ア 身体障害者手帳

障 害 区 分	視 覚 障 害	聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 害	音 声 ・ 言 語 機 能 障 害	肢 体 不 自 由	内 部 障 害	合 計
交 付 人 数 (人)	307	391	67	2,322	1,546	4,633
上 記 の うち 令 和 3 年 度 交 付 人 数 (人)	19	35	7	78	153	292

イ 療育手帳

等 級	交 付 人 数 (人)	左のうち令和3年度交付人数(人)
A (重 度)	413	5
B (中・軽度)	838	51
合 計	1,251	56

ウ 精神障害者保健福祉手帳

等 級	交 付 人 数 (人)	左のうち令和3年度交付人数(人)
1 級	47	7
2 級	495	53
3 級	276	51
合 計	818	111

(2) 一般諸経費

移動制約者通院等助成金

名 称	内 容	対象人数(人)	補助(助成)金額(円)
移動制約者通院等助成金	重度心身障がい者等が通院及び公共機関への用務のためタクシーを利用した場合に小型タクシー基本料金を助成(年24回を限度とする。)	142	1,012,170

(3) 心身障害者扶養共済制度運営事業

名 称	内 容	対象人数(人)	補助(助成)金額(円)
心身障害者扶養共済制度掛金補助金	扶養共済制度掛金の3分の1を補助	10	653,800
心身障害者扶養共済制度年金交付金	扶養共済制度加入者死亡に伴う年金	50	14,400,000

(4) 重度障害者(児)医療費助成事業

重度障がい者に対し、次のとおり医療費を助成しました。

名 称	内 容	延べ人数(人)	助成金額(円)
重度障害者医療費助成金	医療保険で受けた医療費の自己負担分を助成	24,378	220,294,153

(5) 医療費助成事業

精神障がい者の保護義務者に対し、次のとおり医療費の一部を助成しました。

名 称	内 容	延べ人数(人)	助成金額(円)
精神障害者医療費助成金	3か月以上入院した精神障がい者の保護義務者に対し、自己負担分の2分の1を助成	1,613	25,658,284

(6) 福祉手当支給事業

身体障害者手帳1級及び2級の一部の者並びに知的障がい者又は精神障がい者で、常に介護を必要とする状態にあると認められるものに対し、次のとおり手当を支給しました。

名 称	月 額 (円)	延べ人数 (人)	金 額 (円)
経 過 的 福 祉 手 当	14,880	24	357,120
特 別 障 害 者 手 当	27,350	1,458	39,876,300
障 害 児 福 祉 手 当	14,880	470	6,993,600
合 計		1,952	47,227,020

5 障害者自立支援費

(1) 障害福祉サービス事業

障害の状態等により介護、知識・技能の習得、更生、常時介護を要する養護等が必要な障がい(児)者に対し、次のとおり給付しました。

名 称	内 容	延べ人数(人)	金 額 (円)
居 宅 介 護	居宅において、入浴、排せつ、食事等の介護、家事に係る支援、通院等の介助を行う。	1,792	129,564,631
重度訪問介護	2肢以上の麻痺があり常時介助を要する重度の肢体不自由者に対し、居宅にて入浴、排せつ、食事等の介護、外出時における移動中の介護を行う。	12	475,043
同行援護	視覚障害により移動に著しい困難を有する人に対し、移動に必要な情報の提供(代筆・代読を含む。)、移動の援護等の外出支援を行う。	407	13,364,477
行動援護	自己判断能力が欠けている障がい児者が行動する際に生ずる危険回避のための援護、外出時支援を行う。	63	5,284,264
療養介護 (医療を除く。)	医療を必要とする障がい者に対し、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活上の世話を行う。	274	72,460,480
生活介護	主に日中、障がい者施設にて、入浴、排せつ、食事等の介護を行うとともに、創作的活動、生産活動の機会を供与する。	3,195	690,721,119
短期入所	介護する人が病気等の場合に、施設にて短期間の入所が必要となる障がい児者に対し、入浴、排せつ、食事等の介護を行う。	266	10,168,533
重度障害者 等包括支援	4肢全てに麻痺があり、常時介助を要する意思疎通が困難な障がい者に対し、居宅介護やその他のサービスを包括的に行う。	0	0
施設入所支援	生活介護、自立訓練又は就労移行支援の対象者に対し、主に夜間、入浴、排せつ、食事等の介護を行う。	1,908	258,071,513
自立訓練 (機能訓練)	地域生活を営む上で身体機能・生活能力の維持、向上のための支援を要する身体障がい者に対し訓練等を供与する。	4	714,564
自立訓練 (生活訓練)	自立した地域生活を営む上で生活能力の維持、向上のための支援を要する知的・精神障がい者に対し訓練等を供与する。	199	23,675,979
就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、必要な知識及び能力の向上のための訓練を行う。	450	69,160,783
就労継続 支援A型	一般企業等への就労が困難な障がい者に対し、雇用契約を締結した上で、働く場を提供し、生産活動等を通じて知識及び能力の向上のための訓練を行う。	362	57,822,330
就労継続 支援B型	一般企業等への就労が困難な障がい者に、働く場を提供し、生産活動等を通じて知識及び能力の向上のための訓練を行う。	3,625	488,255,067

名 称	内 容	延べ人数(人)	金額 (円)
就 労 定 着 支 援	就労移行支援等の利用を経て、一般就労へ移行した障がい者で、就労に伴う環境変化により生活面の課題が生じている人へ、相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要な支援を行う。	245	7,427,223
共 同 生 活 援 助	就労している者又は就労継続支援等の利用者に対し、主に夜間、共同生活を行う住居において相談や日常生活上の援助を行う。	1,032	155,996,114
特例介護給付費及び特例訓練等給付費	支給決定を受ける前に、緊急を要する場合など、やむを得ず利用したサービスに対する給付	12	971,725
高 額 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 等 給 付 費	同一世帯内に障害福祉サービス等を利用する者が複数いる場合等に、1か月の世帯における利用者負担額が世帯基準額を超過した場合に支給する。	0	0
特 定 障 害 者 特 別 給 付 費	施設入所者のうち低所得者に係る食費、光熱水費の負担を軽減するための給付	2,940	30,586,404
特 例 特 定 障 害 者 給 付 費	支給決定を受ける前に、緊急を要する場合など、やむを得ず利用したサービスに対する特定障害者特別給付費に係る給付	0	0
地 域 相 談 支 援 給 付 費	一般相談支援事業所による地域（移行・定着）相談支援の提供に対する給付	0	0
計 画 相 談 支 援 給 付 費	指定特定相談支援事業によるサービス等利用計画案作成に対する給付	1,671	23,351,101
療養介護医療費	医療介護に係る医療に要した費用を支給する。	274	18,637,067
やむを得ない事由による措置	支援を必要とする者が、やむを得ない事由により、支援費の支給を受けることが著しく困難であると認める場合に措置を行う。	0	0
合 計		18,731	2,056,708,417

(2) 自立支援医療事業

身体障がい（児）者の身体の機能障害を除去又は軽減する手術等の治療を行うことで、確実に効果が期待できる者を対象に自立支援医療費（更生・育成医療）の給付を行いました。

人数及び医療費		区 分			合 計
		一 般	心臓機能障害	じん臓機能障害	
更 生	受 給 者 数 (人)	18	0	47	65
	医 療 費 (円)	6,349,706	0	67,782,881	74,132,587
育 成	受 給 者 数 (人)	7	0	0	7
	医 療 費 (円)	224,391	0	0	224,391

(3) 補装具費支給事業

障害を補うための補装具の購入又は修理が必要な障がい（児）者に対して、次のとおり補装具費を支給しました。

名 称	区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
補 装 具 費	購 入	172	20,515,713
	修 理	78	7,053,648
合 計		250	27,569,361

(4) 地域生活支援事業

障がい（児）者の自立と社会参加を支援する目的で次のとおり実施しました。

ア 障害者自立支援に係る講習会開催

・点字講習会（小中学生対象）	講座回数 3回	受講者	58人
・点字講習会（一般）	講座回数 5回	受講者	5人
・点訳者養成	講座回数20回	受講者	14人
・手話講座（小中学生対象）	講座回数 2回	受講者	32人
・手話奉仕員養成講座（入門）	講座回数24回	受講者	16人
・手話講座（一般）	講座回数 6回	受講者	8人
・ガイドヘルパー講習会	講座回数 2回	受講者	12人
・SPコード講習会	勉強会22回	受講者	9人

成果等

講習会開催により、点訳者及び手話通訳者の養成と、音訳者及びガイドヘルパーのスキルアップを図るとともに、障がい者についての理解を深めることができました。

イ 委託

名 称	内 容	述べ利用 人数（人）	金額（円）	委 託 先	契約方法
相談支援事業	障がい者、障がい児の保護者又は障がい者等の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のために必要な援助を行う。	10,368	15,600,000	社会福祉法人富士宮市 社会福祉協議会	随意契約
			10,000,000	社会福祉法人 富士厚生会	随意契約
			合計	25,600,000	
地域活動支援 センター事業	障がい者等を通わせ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与する。	7,951	19,150,640	社会福祉法人富士宮市 社会福祉協議会	随意契約
			6,452,300	社会福祉法人 昭 隆 会	随意契約
			79,200	社会福祉法人 富士厚生会	随意契約
			合計	25,682,140	
移動支援事業	屋外での移動が困難な障がい者等に対し、外出のための支援を行う。	個別 1,288	467,200	特定非営利活動法人 ピ ア ケ ア	随意契約
			1,116,350	(有) り ふ れ	随意契約
			1,021,840	社会福祉法人インクルふじ 生活介護事業所でらーと	随意契約
			994,880	社会福祉法人富士宮市 社会福祉協議会	随意契約
			35,280	(有) な の 花	随意契約
			662,400	(株) ニ チ イ 学 館	随意契約
			25,110	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ夢コープ	随意契約
			193,650	(株) 静 岡 仮 設	随意契約
			1,657,490	合同会社ハンクス	随意契約
			503,960	合同会社らんぶ	随意契約
合計	6,678,160				

名 称	内 容	述べ利用 人数 (人)	金額 (円)	委 託 先	契約方法
日 中 一 時 業 支 援 事 業	障がい者等の家族の就労支援及び障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的として、障がい者等の日中における活動の場を提供する。	2,601	3,175,800	社会福祉法人富士旭学園	随意契約
			1,204,800	社会福祉法人柿ノ木会	随意契約
			515,960	富 士 市	随意契約
			5,169,300	社会福祉法人インクルふじ	随意契約
			28,500	特定非営利活動法人 富士宮市手をつなぐ育成会	随意契約
			27,000	(株)富士山ドリームビレッジ	随意契約
			118,200	特定非営利活動法人 すてっぷあっぷ	随意契約
			547,400	(株)ムジカオハナ	随意契約
			30,600	特定非営利活動法人 障がい者生活自立・就労支援 スクールふじのみや	随意契約
			370,800	社会福祉法人富士厚生会	随意契約
			250,760	(有) り ふ れ	随意契約
			64,800	社会福祉法人信愛会	随意契約
合 計			11,503,920		
訪 問 入 浴 サ ー ビ ス 事 業	重度身体障がい者に対する訪問入浴車による入浴サービス	505	6,240,122	社会福祉法人天竜厚生会	随意契約
			合 計		

ウ 日常生活用具給付扶助費

身体障がい者の日常生活を容易にするための用具費を支給しました。

日常生活用具給付 2,921 件 31,701,323 円

6 遺家族等援護費

戦没者追悼式運営事業

日清・日露戦争から第二次世界大戦までに戦没した英霊の死を悼み、世界恒久平和を祈念する戦没者追悼式を実施しました。

名 称	概 要	金 額 (円)	参 列 者 数
富士宮市戦没者追悼式	8月15日の終戦の日に実施 場所 市民文化会館大ホール	562,378	遺族 87人 来賓等 98人

7 救済費

行旅病人等援助事業

行旅死亡人・病人、旅費欠者及び生活困窮者の援護を行いました。

区 分	行旅死亡人	行旅病人	旅費欠者	生活困窮者	合 計
取 扱 人 数 (人)	0	0	9	12	21
金 額 (円)	0	0	4,500	135,650	140,150

8 老人福祉施設費

長生園運営事業

入居者が健康で安らかな生活を送ることができるよう施設運営に努めました。

(1) 入居者の状況

性別	区分	令和2年度末 人数(人)	令和3年度				
			入所人数(人)	退所人数(人)	年度末人数(人)	年度末平均年齢	年度末平均在所期間
男		26	1	0	27	78歳1月	7年3月
女		23	2	2	23	84歳4月	6年8月
合計		49	3	2	50	81歳0月	7年0月

(2) 措置費内訳

(単位：円)

管内別	費目別	事務費	生活費	合計
富士宮市		96,334,840	31,181,091	127,515,931

(3) 指定管理者による管理

名称	概要	金額(円)	指定管理者
長生園管理運営業務	管理運営	127,515,931	社会福祉法人富士厚生会

成果等

長生園の、より効率的な管理運営と入所者へのサービス向上を図るため、平成18年度から指定管理者制度を導入しています。類似施設の運営実績がある法人が管理運営に当たることにより、入所者に対しきめ細やかなサービスを提供することができました。

(4) 工事

名称	工種・概要	金額(円)	受注者	契約方法
長生園空調設備設置工事	共用スペースへの空調設備の設置	9,790,000	株式会社伊藤電気工事	公募型指名競争入札

成果等

共用スペース4か所に空調設備を設置し、入所者が健康的に生活できる環境を整備しました。

9 国民年金事務費

(1) 国民年金被保険者数(令和4年3月31日現在)

(単位：人)

項目	男	女	合計
第1号被保険者	6,732	6,037	12,769
任意加入被保険者	49	63	112
第3号被保険者	82	7,285	7,367
合計	6,863	13,385	20,248

(2) 第1号被保険者の異動状況

(単位：人)

取得	喪失	転入	転出
4,426	4,561	548	679

(3) 保険料

免除等の状況

(単位：人)

第1号被保険者	法定免除	申請免除	学生納付特例	納付猶予	免除者合計	免除率
12,769	1,088	2,175	1,395	561	5,219	40.9%

※ 申請免除の内容（全額・3/4・半額・1/4免除）

(4) 相談（届出等含む。）

国民年金に関する相談等受付

(単位：件)

窓口（来訪）	電 話	郵便（メール含む。）	合 計
6,772	1,432	35	8,239

10 介護予防支援事業所運営費

介護予防支援事業所運営事業

介護予防支援事業所の指定を受けた富士宮市地域包括支援センターが、要支援者の自立支援のために作成する介護予防サービス・支援計画の作成業務の一部を居宅介護支援事業所に委託しました。

名 称	概 要	金額（円）	委 託 先	契約方法
介護予防支援業務	介護予防サービス・支援計画作成等	7,299,336	医療法人社団一就会ほか 38 法人	随意契約

第2節 児童福祉費

1 児童福祉総務費

(1) 児童扶養手当支給事業

ひとり親家庭若しくは両親のいずれかに重度の障がいがある世帯又はこれらの状況に準ずる世帯で児童扶養手当法に該当する者に対し、児童扶養手当を支給しました。

支給世帯数及び支給額

支給世帯数 912 世帯（令和3年度末現在）

支給総額 4億6,535万4,260円

(2) 母子家庭等自立支援事業

母子家庭の母又は父子家庭の父の就業に有利な資格取得や能力開発に向けた取組を支援しました。

ア 自立支援教育訓練給付金

経理事務、ホームヘルパーなど教育訓練給付金の対象となる講座を受講した母子家庭の母及び父子家庭の父に対して自立支援教育訓練給付金を支給

給付額：支給対象者が講座受講のために支払った教育訓練経費の6割相当額

（上限20万円、下限1万2,000円、受講終了後に申請に基づき給付）

支給人数 3人

支給総額 12万1円

イ 高等職業訓練促進給付金等

(ア) 資格取得のため1年以上養成機関で修業した場合に生活費の負担軽減のため支給

（上限10万円/月）

支給人数 3人

支給総額 256万7,000円

(イ) 修了支援給付金(上限5万円)

支給人数 1人

支給総額 2万5,000円

成果等

訓練促進給付金等の支給により、就職の際に有利な保育士資格を取得。母子家庭の母の就業につながりました。

(3) 児童遊園管理事業

子供の遊び場である児童遊園(65か所)の良好な環境を保つため、遊具の点検、修繕等を行い、その整備を図りました。

(4) 放課後児童健全育成事業

ア 委託

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るため、地域の児童クラブ育成会等へ委託し、放課後児童健全育成事業を実施しました。

委託先 黒田児童育成会、富丘児童育成会、社会福祉法人珀寿会、野中東子どもBASE児童クラブ育成会、ぶらどーむ児童クラブ育成会、ぶらどーむ第2児童クラブ育成会、ジュニアハウス児童クラブ育成会、ジュニアハウス第2児童クラブ育成会、上野児童クラブ育成会、白糸学童育成会、吉美児童育成会、あおぞら児童クラブ育成会、北山児童クラブ育成会、ひがし児童クラブ育成会、21世紀児童クラブ育成会、根北児童クラブ育成会、貴船児童クラブ育成会、上井出児童クラブ育成会、とがみえん児童クラブ育成会、とがみえん北児童クラブ育成会、なかよし西児童クラブ育成会、やまびこ児童クラブ育成会、ゆのっ子児童クラブ育成会、たけの子児童クラブ育成会、山宮子ども育成会、富士山子どもBASE児童クラブ育成会

委託金額 2億1,628万7,880円

児童数 1,077人

イ ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用料助成

児童扶養手当又は生活保護を受給しているひとり親家庭等のうち、放課後児童クラブに通う児童を監護している家庭に対し、利用料の半額助成(1月当たり上限3,000円)を実施しました。

支給人数 111人

支給総額 366万3,842円

成果等

市内21小学校区中18小学校区に放課後児童クラブを設置し、児童の健全な育成を図りました。

(5) 児童保護措置事業

ア 児童養護施設等への入所

養護に欠けている児童、家庭環境に恵まれない児童、非行やその傾向にある児童、不登校の児童等、児童が置かれている様々な環境や問題行動を改善して、その福祉を向上させるため、民生委員・児童委員、

主任児童委員、小・中学校、教育委員会等との密接な連携のもと家庭児童相談室での指導を重ね、県富士児童相談所とともに措置などを実施しました。

施設入所児童数

(単位：人)

児童養護施設	児童自立支援施設	乳児院	知的障害児施設	児童心理治療施設	里親	合計
10	0	5	7	3	4	29

イ 母子生活支援施設への入所

児童福祉法第23条に規定する母子生活支援施設を4世帯11人が利用しました。

(6) ファミリー・サポート・センター事業

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりの援助を受けたい人(委託会員)と当該援助を行いたい人(受託会員)との相互援助活動に関する連絡、調整を行うことにより、地域における育児の相互援助活動を推進するとともに、多様なニーズへの対応を図るため、直営でファミリー・サポート・センター事業を実施しました。

登録会員数 611人(令和3年度末現在)

委託会員数 409人 受託会員数 178人 両方会員数 24人

ア 活動実績

(単位：回)

区分	保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	保育施設までの送迎	放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	学校の放課後の子どもの預かり	冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	買い物等外出の際の子どもの預かり	その他	合計
活動回数	4	406	0	35	0	22	3,017	3,484

イ ファミリー・サポート・センター援助活動利用料助成

ひとり親の低所得世帯に対し、利用料の半額助成を実施しました。

対象者 6人 16万5,550円

(7) 遺児福祉手当支給事業

交通事故等で両親を失った遺児に対して、1人月額5,000円を支給しました。

対象人数 2人(うち、1人については、年齢到達により6か月分支給)

支給額 9万円

(8) 子ども健全育成事業

ア あそびの教室

地域に暮らす子ども同士、親同士がともに集い、互いに交流を深めることを目的として、ボランティアや体操講師による歌、紙芝居、工作、体操などの遊び全般を実施しました。

実施期間 令和3年4月14日から令和4年3月23日まで

毎週水曜日(夏・冬・春季に休みあり。祝日を除く。)(全29回)

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月25日～9月及び1月19日～3月16日は中止

実施場所 大富士交流センター

対象 未就学児と付添いの方

参加人数 子ども539人・大人509人(延べ人数)

イ おもちゃ病院

壊れたおもちゃを直すことで、物を大切に作る心や工夫する喜びを子どもや保護者に伝え育てることを目的とし、ボランティアグループ「ふじ山子どもおもちゃ病院」の会員に依頼し実施しました。

実施日 令和3年4月17日から令和4年3月19日までの第3日曜日（全11回）

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年9月は中止

実施場所 大富士交流センター

受付件数 140件

修理個数 228個

ウ 子ども演劇まつり

日頃、生の演劇にふれる機会の少ない子どもたちのために3団体（劇団うふふ・影絵劇団いちばん星・椿家人形劇場）による人形劇や寸劇の公演を実施しました。

実施日 令和3年7月3日、4日、10日、11日

実施場所 富士見小学校、大宮小学校、稲子小学校、総合福祉会館、富丘交流センター、井之頭区民館

観客数 延べ485人

エ 秋の子どもまつり

子どもたちに創作活動や伝承遊びを始め、日頃なかなか接することの少ない遊びを体験する事業を実施しました。

実施日 令和3年10月31日

実施場所 総合福祉会館

内容 各種クラフト

参加者 209人

(9) 児童館建替事業

ア 工事

富士山の稜線をイメージした屋根と、吹抜けで開放感のある遊戯室を特徴にもつ児童館を建設しました。

名 称	概 要	金額 (円)	受 注 者	契 約 方 法
令和3年度(仮称)富士宮市立児童館建設工事	鉄骨造2階建 延床面積619.82㎡	279,180,000	(株)旭建設	制限付き 一般競争入札

イ 備品購入費

児童館の開館に向けて、楽しく遊べる遊具、素材や作りにこだわった家具等を選定し、購入しました。

名 称	概 要	金額 (円)	受 注 者	契 約 方 法
児童館備品(大型遊具)	ボールプール、トランポリン、組立式プレイジム等	3,850,000	(株)金指商会 富士宮出張所	指名競争入札
児童館備品(家具)	富士宮産ヒノキを使用したテーブル、建物と調和した家具等	3,586,000	(株)エチゼンヤ	指名競争入札
児童館備品(事務室等備品)	事務室の机、椅子、ロッカー等	2,695,000	芙蓉文具(株) 富士宮営業所	指名競争入札
児童館備品(授乳室等備品)	おむつ交換台、着替え台、折りたたみベッド等	1,705,000	(株)エチゼンヤ	指名競争入札

2 児童手当費

児童手当支給事業

中学校修了前の子どもを養育している保護者を対象に手当を支給しました。

区分別延べ対象児童数及び支給額

区 分	延べ対象児童数（人）	支給額（円）	概 要
3歳未満児童手当	24,862	372,930,000	3歳未満 15,000円/月
小学校修了前児童手当	107,688	1,144,270,000	小学校修了前 10,000円/月
中学生児童手当	39,532	395,320,000	小学校修了前第3子以降 15,000円/月
特 例 給 付	8,324	41,620,000	中学生 10,000円/月 特例給付 5,000円/月

3 家庭児童相談員費

(1) 家庭児童相談事業

家庭における児童の適正な養護、家族関係の回復、不登校等の就学不応児童への指導、障がい児等の相談や指導等を行い、社会生活、家庭生活への順応と資質の向上に努めました。 (単位：件)

性格・生活習慣等	知能・言語	学校生活等	非 行	家族関係	環 境	心身障がい	その他	合 計
499	45	2,306	40	2,821	1,165	387	543	7,806

(2) 児童虐待相談の状況

児童虐待の通報等を受けた場合は、児童の安全確認を48時間以内に行い、家庭からの分離が必要な場合は、県富士児童相談所に通告するといった対応をとっています。

なお、令和3年度の虐待通告受理件数は69件です。

4 子ども医療助成費

(1) 子ども医療費助成事業

子どもの医療費の軽減を図り、健やかな成長に寄与するため、医療費を助成しました。

区分別給付件数及び助成額

区 分	対 象 者	給付件数（件）	助成額（円）
通 院	0歳～18歳	219,437	342,361,810
入 院	0歳～18歳	990	91,709,469
合 計		220,427	434,071,279

(2) 未熟児養育医療給付事業

未熟児に対する養育に必要な医療の給付を行いました。

区 分	交付認定（人）	給付件数（件）	給付額（円）
未熟児養育医療	17	36	3,895,401

5 母子家庭等医療助成費

母子家庭等医療費助成事業

ひとり親家庭若しくは両親のいずれかに重度の障がいがある世帯又はこれらの状況に準ずる世帯で、20歳未満の者及びその養育者に医療費を助成しました（所得税が非課税の世帯に限る。）。

母子家庭等医療費助成 1万821件 2,504万367円

6 心身障害児福祉費

(1) 重症心身障害児児童扶養手当支給事業

特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行令（昭和 50 年政令第 207 号）別表第 3 の 1 級の項に規定する障害の状態にある 20 歳未満の者の父母又は養育者に対し、次のとおり手当を支給しました。

区 分	月 額 (円)	延べ人数 (人)	金 額 (円)
重症心身障害児児童扶養手当	3,800	1,439	5,468,200

(2) 障害児支援事業

名 称	内 容	延べ人数 (人)	金額 (円)
児 童 発 達 支 援	未就学障がい児に対する日常生活の基本動作、知識技能の付与、集団生活適応訓練	725	96,950,567
放課後等デイサービス	就学障がい児の放課後又は休業日に、生活能力向上に必要な訓練や交流促進を行う。	7,568	735,484,957
保育所等訪問支援	保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外との集団生活への対応のための専門的な支援、その他必要な支援を行う。	12	244,021
障害児相談支援給付費	障がい児の通所サービスの利用計画（障害児支援利用計画等）を作成	776	13,338,123
高額障害児通所給付費	利用者負担額の合計が、一定の基準額を超えた場合に、超えた分の額を助成	9	463,156
やむを得ない事由による措置	支援を必要とする者が、やむを得ない事由により、支援費の支給を受けることが著しく困難であると認める場合に措置を行う。	0	0
合 計		9,090	846,480,824

7 療育支援センター費

(1) 相談事業

ことばの遅れ、多動等の発達について心配を抱えている幼児と保護者に対して、相談を実施しました。

(単位：人)

	発達の相談	ことばの相談	うごきの相談	療育の相談	合 計
新規相談	59	27	26	30	142
継続相談 (再評価)	97	19	30	0	146

(2) 療育事業

早期療育として、集団指導及び個別指導を実施しました。

		実人数 (人)	回 数 (回)	延べ人数 (人)
集	団	119	303	1,275
個 別	こ と ば	39	399	399
	運 動	87	569	569
	そ の 他	85	609	609

(3) 連携事業

関係機関と連携して、医師による相談会などの事業を実施しました。

名 称	回数（回）	人数（人）
医 師 相 談	4	7
療 育 相 談	19	(延) 78
ホースセラピー	4	83

保育園・幼稚園などの園訪問（園支援）事業を実施しました。

	回数（回）	実人数（人）	延べ人数（人）
園訪問（園支援）	154	238	278

(4) 研修事業

関係機関（保育園、幼稚園及び事業所）の従事者・保護者を対象に研修会等を開催しました。

ア 療育支援に関する研修会

日 時	演 題	講 師 名	対 象	参加者数
6月5日(土) 10:00～12:00	子どもの育ちと大人の役割 -感覚統合から見た療育の意味-	浜松学院短期大学部 子どもの未来創造 センター長・教授 志村浩二 先生	保 護 者	25人
6月5日(土) 13:30～15:30	得意と苦手の神経心理学的 アプローチ		保育士・幼稚園教諭・ 事業所・関係機関 支援者等	71人

イ 療育支援講座（講師：療育支援センター職員）

開催日	演 題	対 象	参加者数
7月30日(金)	こあらの説明 ことばの育ちを支えるために	幼稚園 保育園 認定こども園 小規模保育所 企業主導型保育所 関係機関支援者 等	36人
8月27日(金) ～9月17日(金)	あすなる園の説明 気になるこどもを理解するために～発達障害概論～		-
9月24日(金) ～10月15日(金)	みんなが過ごしやすい環境の工夫と遊びの紹介		-
10月29日(金) ～11月19日(金)	感覚を育む遊びのアイデア		-

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2回目以降は動画配信としたことから、参加者数は不明

8 障害児通所施設費

あすなる園運営事業

障害児通所施設富士宮市立あすなる園において、未就学障がい児に対して、集団生活を通じて、生活に必要な習慣の獲得や、発達を促すための療育指導を行いました（定員30人、通所児童30人）。

9 児童保育費

(1) 地域子育て支援センター運営事業

地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とし、直営及び委託により、地域子育て支援センター運営事業を実施しました。

直営 西保育園、大宮保育園、富士根保育園

委託 野中こども園、外神あけぼの保育園、認定こども園芝川リズム、富士宮市社会福祉協議会

ア 委託金額 3,185万5,000円

イ 事業実績

利用者 延べ2万414人

利用実績

区 分			相談		講座		サークル	
	開設日数(日)	延べ利用者(人)	面接相談(件)	電話相談(件)	回数(回)	延べ人数(人)	回数(回)	延べ人数(人)
富士根	240	3,083	123	2	220	2,365	0	0
西	239	2,673	283	4	216	624	0	0
大 宮	241	3,747	193	0	218	3,747	0	0
野 中	217	1,198	254	0	0	0	0	0
外 神	212	1,042	88	0	38	231	0	0
芝 川	242	1,126	60	45	1	6	0	0
社 協	243	7,545	1,078	12	10	268	0	0
合 計	1,634	20,414	2,079	63	703	7,241	0	0

ウ 民間地域子育て支援拠点事業所施設整備補助

地域子育て支援拠点事業所の改築に係る経費を、次のとおり補助しました。

社会福祉法人 柿ノ木会（地域子育て支援センターのなか改築に伴う施設整備補助）

1,304万4,000円

(2) 施設型保育事業

ア 私立保育所運営費補助

私立保育所の運営の円滑化と児童の福祉を充実するため、次のとおり補助しました。

(単位：円)

区 分		金 額
民間保育所運営費		103,344,630
上記の内訳	認可保育所分	103,344,630
	認可外保育所分	0

イ 私立保育所特別保育事業費補助

(ア) 保育所地域活動事業

保育所の有する専門的機能を活用し、地域の需要に応じた幅広い活動を推進することにより、児童福祉の向上を図りました。

(イ) 延長保育事業

延長保育の需要に対応するため、延長保育に取り組む保育所を支援し、児童福祉の推進を図りました。

(ウ) 一時預かり事業

緊急又は一時的な保育に対する需要に対応し、児童福祉の推進を図りました。

(単位：円)

施設名	事業名	保育所地域活動事業				延長 保育 事業	一時 預 かり 事業	
		世 代 間 交 流	異 年 齢 児 交 流	育 児 講 座	支 援 と 仕 事 両 立 業			要 じ 地 域 特 性 に 応 じ た 保 育 に 対 し た 需 要
外保	あけぼの園	200,000	100,000	—	—	234,000	300,000	—
認定	こども園 芝川リズム	145,000	155,000	—	—	—	—	—
認定	こども園 青木リズム	180,000	170,000	—	—	—	—	—
認定	こども園 ふじキンダー学園	24,000	115,500	—	—	—	1,725,748	—
認定	こども園 リーチェル幼稚園	—	—	—	—	—	544,969	—
大	中里こども園	18,000	189,878	234,000	—	—	—	—
東	こども園	—	234,000	234,000	—	—	1,816,531	—
野	中こども園	165,000	—	30,000	—	—	506,800	19,200
富	丘こども園	234,000	234,000	—	234,000	—	—	588,000
小	泉こども園	234,000	85,000	—	219,000	—	—	—
認定	こども園 宮原学園	100,000	68,000	—	—	—	—	2,238,050

ウ 保育環境改善等事業費補助

私立保育所とその職員が感染症対策を徹底しつつ事業を継続的に実施していくために必要な消毒液等の物品購入等の経費を補助しました。

施設名	分類	金額(円)	
外保あけぼの保育園	保育所	500,000	
認定こども園芝川リズム	幼保連携型認定こども園	500,000	
認定こども園青木リズム	保育所型認定こども園	500,000	
認定こども園ふじキンダー学園	幼保連携型認定こども園	500,000	
認定こども園リーチェル幼稚園	幼保連携型認定こども園	500,000	
東こども園	幼保連携型認定こども園	500,000	
野中こども園	幼保連携型認定こども園	500,000	
大	中里こども園	幼保連携型認定こども園	500,000
富	丘こども園	幼保連携型認定こども園	500,000
小	泉こども園	幼保連携型認定こども園	500,000

エ 施設型保育事業扶助費（受託児童を含む。）

保護者の委託を受けて保育の必要性のある乳幼児の保育を実施するため、私立保育所等に扶助費を支払いました。

(ア) 在園児数（令和3年度末現在）

（単位：人）

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
90	186	220	289	324	295	1,404

(イ) 扶助費

施設名	金額（円）
外神あけぼの保育園	80,762,120
認定こども園芝川リズム	72,934,078
認定こども園青木リズム	102,856,498
認定こども園ふじキンダー学園	158,125,650
認定こども園リーチェル幼稚園	84,916,090
認定こども園宮原学園	67,292,280
東こども園	140,040,205
野中こども園	97,574,550
大中里こども園	70,449,970
富丘こども園	77,932,400
小泉こども園	108,076,720

オ 他市委託保育扶助

保護者が市外へ勤務する等家庭の事情による乳幼児の保育を富士市等に委託しました。

委託保育所数 富士市杉の木保育園ほか 27 園

委託延べ人数 398 人

カ 受託児童保育扶助

富士宮市以外の住民が富士宮市へ勤務する等家庭の事情による乳幼児の保育を受託しました。

受託保育所数 富士根保育園ほか 14 園

受託延べ人数 694 人

(3) 地域型保育事業

ア 私立保育所特別保育事業費補助

延長保育の需要に対応するため、延長保育に取り組む小規模保育所を支援し、児童福祉の推進を図りました。

施設名	金額（円）
にこにこえん	52,050
愛育託児所	197,001

イ 保育環境改善等事業費補助

小規模保育所とその職員が感染症対策を徹底しつつ事業を継続的に実施していくために必要な消毒液等の物品購入等の経費を補助しました。

施設名	分類	金額（円）
パロット	小規模保育 A 型	117,000
にこにこえん	小規模保育 A 型	300,000
ぶくぶく保育室	小規模保育 A 型	186,000
プティット富士宮保育園	小規模保育 B 型	300,000
私立宮原学園さくら組	小規模保育 B 型	300,000

ウ 地域型保育事業扶助費（受託児童を含む。）

保護者の委託を受けて保育の必要性のある乳幼児の保育を実施するため、小規模保育所に扶助費を支払いました。

(ア) 在園児数（令和 3 年度末現在）

（単位：人）

0 歳児	1 歳児	2 歳児	合計
34	47	45	126

(イ) 扶助費

施設名	分類	金額（円）
たんぼぼ園	小規模保育 A 型	33,102,320
パロット	小規模保育 A 型	27,598,950
にこにこえん	小規模保育 A 型	37,899,390
だんでらいおん	小規模保育 A 型	24,967,450
ぶくぶく保育室	小規模保育 A 型	35,992,080
愛育託児所	小規模保育 B 型	29,319,830
プティット富士宮保育園	小規模保育 B 型	26,377,620
私立宮原学園さくら組	小規模保育 B 型	25,303,740

エ 他市委託保育扶助

市外の地域型保育事業を実施する園に乳幼児の保育を委託しました。

委託地域型保育所数 保育所ちびっこハウス富士松本園ほか 7 園

委託延べ人数 91 人

(4) 子育てのための施設等利用事業

ア 認可外保育施設等利用扶助費

幼児教育・保育の無償化により、保育が必要な子が認可外保育施設や一時預かり保育等を利用した際に保護者が支払った利用料相当額を市から保護者に支払いました。

令和 3 年度は、認可外保育施設を利用した 3 人に対し、900,000 円支払いました。

イ 認定こども園等預かり保育扶助費

幼児教育・保育の無償化により、保育が必要な子が幼稚園や認定こども園で預かり保育を利用した際の利用料を保護者に代わり各施設に支払いました。

(ア) 利用者数 (令和3年度末現在)

(単位：人)

区 分	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	合 計
幼 稚 園	79	98	105	282
認 定 こ ど も 園	9	15	25	49

(イ) 扶助費

施 設 名	分 類	金 額 (円)
富 士 宮 東 幼 稚 園	幼 稚 園	383,350
富 士 宮 北 幼 稚 園	幼 稚 園	870,150
に し ふ じ の み や 幼 稚 園	幼 稚 園	2,652,750
西 ケ 丘 幼 稚 園	幼 稚 園	3,446,100
上 野 幼 稚 園	幼 稚 園	262,350
富 士 宮 聖 母 幼 稚 園	幼 稚 園	518,300
万 野 幼 稚 園	幼 稚 園	908,100
黒 田 幼 稚 園	幼 稚 園	2,342,150
杉 田 幼 稚 園	幼 稚 園	362,550
富 士 リ ズ ム 幼 稚 園	幼 稚 園	2,500
加 藤 学 園 幼 稚 園	幼 稚 園	54,550
ゆ き よ し 幼 稚 園	幼 稚 園	88,650
川 越 白 ゆ り 幼 稚 園	幼 稚 園	9,000
天 間 幼 稚 園	幼 稚 園	56,300
認 定 こ ど も 園 芝 川 リ ズ ム	認 定 こ ど も 園	141,000
認 定 こ ど も 園 青 木 リ ズ ム	認 定 こ ど も 園	541,800
認 定 こ ど も 園 ふ じ キ ン ダ ー 学 園	認 定 こ ど も 園	13,300
認 定 こ ど も 園 リ ー チ ェ ル 幼 稚 園	認 定 こ ど も 園	909,300
大 中 里 こ ど も 園	認 定 こ ど も 園	241,850
東 こ ど も 園	認 定 こ ど も 園	104,200
富 丘 こ ど も 園	認 定 こ ど も 園	59,100

10 保育所費

保育所運営事業

市立保育所では、保護者の委託を受け、保育の必要性のある乳幼児の保育を実施しました。また、特別保育事業を実施し、健全な児童の育成と、保護者の利便を図りました。

在園児数 (令和3年度末現在)

(単位：人)

0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	合 計
33	135	165	196	244	229	1,002

(1) 特別保育事業

ア 延長保育事業

大宮保育園、粟倉保育園、明星保育園、大富士保育園、大岩明倫保育園、富士根保育園及び西保育園で延長保育(標準時間)を実施し、市立13園で延長保育(短時間)を実施しました。

延べ利用児童数 1,289人 延べ利用日数 5,379日 稼働日数 293日

通常の場Ⓐの開所時間	午前7時00分～午後6時00分
延長保育（標準時間）	午後6時00分～午後6時30分
延長保育（短時間）	午前7時00分～午前8時30分
	午後4時30分～午後6時30分

イ 一時預かり事業

緊急又は一時的な保育に対応するため、市立13園で一時預かり事業を実施し、児童福祉の推進と保護者の心理的負担の軽減を図りました。

延べ利用人数 473人 延べ利用日数 1,977日

ウ 病後児保育事業

大宮保育園では、病Ⓐ回復期の乳幼児及び児童を保育する病後児保育を実施しました。

延べ利用人数 19人 延べ利用日数 38日

(2) 実施設計委託

名 称	概 要	金額 (円)	委 託 先	契 約 方 法
大宮保育園病児保育室等改修工事実施設計業務	大宮保育園病児保育室及び一時預かり室改修に伴う実施設計	2,310,000	(株)アルファ設計	指名競争入札

11 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた低所得の子育て世帯に対し、子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を国庫補助により支給しました。

支援は、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯、18歳未満の児童を養育する住民税非課税世帯、家計が急変した世帯等を対象として、対象児童1人につき5万円を支給しました。

成果等

ひとり親世帯 1,038世帯（対象児童数 1,575人）

ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯 588世帯（対象児童数 1,033人）に対し、合計1億3,040万円を支給しました。

12 子育て世帯臨時特別給付金給付事業費

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組の一つとして、児童手当を受給する世帯（0歳から中学生までの子Ⓐいる世帯）及び高校生等の児童を養育する世帯に対し、子育て世帯臨時特別給付金として、児童1人当たり10万円を国庫補助により支給しました。

成果等

支給対象者1万1,171世帯（対象児童1万9,027人）に対し、合計19億270万円を支給しました。

第3節 生活保護費

生活保護総務費

生活保護事業

令和3年度における生活保護相談件数は150件で、生活保護の開始は90件、廃止は100件でした。その結果、年度末現在の保護世帯数は510世帯、632人となりました。その開始理由は、世帯主の傷病及び預貯金の減少が主なものでした。

生活保護世帯については、民生委員児童委員等の協力を得て、個々の実態に即した自立更生のための指導に努めました。

なお、生活保護世帯は、類型別区分においては高齢者世帯が全体の54.54パーセントと最も多く、また、全体の83.80パーセントが単身者世帯であり、依然として大きな割合を占めています。

扶助費の月平均の支給額は、1世帯当たり18万5,585円、1人当たり15万1,907円となっています。

1 生活保護世帯類型別状況（年間延べ世帯数）

区分	障害者・傷病者		高 齢 者		母 子		そ の 他		合 計	
	世 帯 数	比率(%)	世 帯 数	比率(%)	世 帯 数	比率(%)	世 帯 数	比率(%)	世 帯 数	比率(%)
2人以上	283	4.75	276	4.63	206	3.45	201	3.37	966	16.20
単 身	1,600	26.83	2,976	49.91			421	7.06	4,997	83.80
合 計	1,883	31.58	3,252	54.54	206	3.45	622	10.43	5,963	100.00

2 生活保護扶助費別実施状況

区 分	年 間 延 べ 世 帯 数	年 間 延 べ 人 数 (人)	支 給 金 額 (円)	支 給 総 額 に 対 する 割 合 (%)	1 世 帯 月 平 均 支 給 額 (円)	1 人 月 平 均 支 給 額 (円)
生 活 扶 助	4,846	5,946	263,717,583	23.83	54,397	44,307
住 宅 扶 助	4,741	5,736	153,578,594	13.88	32,401	26,775
教 育 扶 助	152	240	2,058,163	0.19	13,193	8,576
介 護 扶 助	1,425	1,479	43,180,706	3.90	30,239	29,255
医 療 扶 助	5,812	6,951	626,397,741	56.60	107,851	90,155
出 産 扶 助	0	0	0	0	0	0
生 業 扶 助	87	102	1,596,292	0.14	19,003	14,780
葬 祭 扶 助	5	5	1,397,460	0.13	—	—
施 設 事 務 費	72	72	13,980,778	1.26	194,178	194,178
就 労 自 立 給 付 金	15	15	637,212	0.06	—	—
進 学 準 備 給 付 金	1	1	100,000	0.01	—	—
合 計	17,156	20,547	1,106,644,529	100.00		